

目黒区地域公共交通会議 議事概要

名 称	令和4年度 目黒区地域公共交通会議（第2回）
日 時	令和5年3月23日（木）14:00～15:30
会 場	中目黒住区センター室 第5・6会議室 （目黒区中目黒2-10-13 中目黒スクエア内2階）
出 席 者	委員の出欠については、別紙「出席者名簿」のとおり 事務局 都市整備部みどり土木政策課 清水、山下、庭田 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 4名
会議の公開 非公開	公開
傍聴者	0人
配付資料	資料1 目黒区地域公共交通会議委員名簿 資料2 目黒区地域公共交通会議設置要綱及び傍聴要綱 資料3 東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組と今後の進め方について 資料4 北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について 資料5 令和4年度第1回目黒区地域公共交通会議議事概要及び意見
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 議題 東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組と今後の進め方について 4 報告事項 北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について 5 閉会

会議の経過及び発言内容

【議事進行】

次第1「開会」

会長（都市整備部長）より挨拶。

次第2「委員紹介」

資料1「目黒区地域公共交通会議委員名簿」のとおり、事務局より報告。

【補足説明】

○会長 目黒区地域公共交通会議傍聴要綱に基づき、本会議を公開とし、傍聴可能とした。本日の傍聴希望者はいないことを報告。

【議事進行】

次第3「議題（1）東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組と今後の進め方について」

資料3「東部地区の地域交通導入に向けた地域の取組と今後の進め方について」の概要について事務局より説明。

【質疑応答】

○委員 アンケートについて、年代についてもアンケートを取られていたが、結果の整理には反映されているのか。高齢の方がメインで地域交通を使われると思うが、p.6の「新たな地域交通の認知度は約9割が『知らなかった』』」というの、認知している約1割は高齢者ということか。また、バス停の位置を決める際に、地域の方の賛同を得られなかったというの、地域として全体的に得られなかったのか、少しづらせば賛同が得られる状況か。p.8の候補箇所図の⑨⑩のあたりは狭い道だったと記憶しており、ほかに日の丸自動車のあたりなども大きい施設があるのでバス停を置いてもよいと思うが、道路幅員はバス停の設置案に考慮されているのか。

○事務局 全体として65歳以上の方の回答がより多くはなっており、認知度の割合も9.8%と少し高いが、アンケートの集計としては各年代に回答を得た結果での割合となっている。バス停位置については、地域の方と交渉を重ね、道路設備との距離といったバス停の設置基準も踏まえて検討した結果、現在の案となっている。厚生中央病院のところのバス停は病院の敷地内に入れるという案もあったが、病院とも調整を行った結果、前面の道路への設置となった。道路幅員については、狭い道ではあるが、規

定としてはバス停設置が可能な幅員となる。

- 委員 予算のイメージとして、p.10の年間運行経費には車両購入費は含まれていないようであるが、EVバス購入費への補助金の事情はどうなっているか。また収支について、この収支率の検討表を見る限りでは赤字が見込まれると思うが、赤字分は全て目黒区が持つという考えか、ここまでは届かなければ継続できないという収支の線引きはあるのか。
- 事務局 この年間運行経費には車両購入費は含まれておらず、国および東京都からのEVバスへの補助金制度として車両価格の1/3程度の補助があるが、確実にもらえるかは現段階でわからない。バス1台の価格は約3000万円ほどの状況である。赤字補助については、区としては持続可能な地域交通を支援していくという立場であり、どこまでも区が負担するという意向ではない。ボーダーラインはこれから協議会でも検討していくと思うが、ご意見のように線引きは必要だと考えているので実証運行の状況を見て考えていきたい。また広告収入やサポーター制度、協賛金などの収入も考えられるので、それらも含めて検討していきたい。
- 委員 アンケートで利用意向を調査しているが、バス停位置の情報提供がない中でルート案のみを示されたということだと思うが、ルートのみで判断されているので、実際のバス停設置案を見ると意外と遠く利用しづらいといったことで利用意向がアンケート結果と乖離が出てくる地域もあると思われ、そうした点を含めての顕在化率を捉えていいものかは気になる。地域によってはまだ満足度が高まっていない状況かもしれない。そのあたりの乖離をどれほど把握されているか。また利用者数を試算するにあたり、地域発の利用ということに重きを置かれているが、目黒区の場合は地域外からのラストワンマイルとしての利用も見込まれる地域交通であると思うが、その点は想定されているか。また予算について、p.9の想定利用者数に基づいて収支率を立てられているが、1便あたり常に21人利用というのはかなり厳しい数値であり、区として公費負担が必要になるのは見えていると思うが、公費負担は本当にありうると考えてよいのか。
- 事務局 利用意向の結果については、バス停位置が調整中のため情報を出せない中でのアンケートだったというのをご容赦いただきたい。p.8のバス停⑫は、⑬までの距離が長くなるのでこのあたりに設置してほしいという地域の声があり新設で出した。バス停設置基準との調整を行いながら、引き続き地域の声を聞いて検討をしていくが、実証運行としてはこの案で進めていきたい。予算の見込みについては、収支率50%は厳しい

数値というのは事務局でも認識しているが、これを目指していかないと東部以外の地区に対して地域交通を走らせるということの公平性が説明できないので、運賃以外の収入を検討するほか、まずは地域交通の認知度を高められるように支援が必要であると考えている。

○委員 沿道施設の方々が自分の施設に来てもらうためのアクセスの選択肢として、利用者に対する情報提供をどれほど行っていただけるかという点もあるので、沿道の方々へは協賛等以外にも、利用促進に対するサポートも重要かと思う。p.10の内容は、地域の方々に持続可能な地域交通としての運賃設定の在り方を説明するためには重要な資料である。

○委員 スケジュールについて、実証運行は来年の3月という見込みか。

○事務局 来年3月を見込んで各種調整を進めている。

○委員 その2～3か月ほど前に地域公共交通会議の合意を取っていただき、停留所ができる品川区・渋谷区の地域公共交通会議の合意は必ず取ってもらいたい。また、運行ルートとして通る港区については交通政策部長等へ同意照会を行い合意をもらうという形で、目黒区の地域公共交通会議で関係自治体への合意を取ったという資料も添付されるとよい。

○事務局 品川区、渋谷区については情報提供を行っている。現ルート案に含まれる港区についてもご指摘のとおり同意照会を行い、資料として添付するようにする。

○会長 今のような手続きも大事な話であり、確認の意味も含めて何かあればご意見いただきたい。他にご意見がなければ、東部地区については本日の内容で合意いただいたということでよいか。

○委員 異議なし。

○会長 東部地区については、この内容で進めていく。

【議事進行】

次第4「報告事項（1）北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について」
資料4「北部地区の地域交通導入に向けた地域の取組について」の概要について事務局より説明。

【質疑応答】

- 委員 世田谷区のオンデマンド輸送の実証運行を視察したということだが、他には視察は行われたのか。
- 事務局 視察したのは世田谷区のみである。
- 委員 実証運行期間中は運賃無料ということだが、将来的な運賃や、人件費等の運行に関する費用といった収支については、どのような考えがあるかなど照査されているか。
- 事務局 まだ収支の検討まで行っておらず、東部地区と同じような料金設定にしていく方向では考えているが、ルートや停車ポイント、事業者との調整にもよると思うので、今後、検討して決めていくことになる。
- 委員 利用者として、交通弱者、高齢者、バス停へ歩いていくのが困難な方等どういった方を想定しているかもあると思うが、そういう方がどの程度いてどれ位の需要があるかを考えていく必要があると感じる。タクシーであればアプリ等で呼び自宅の前まで付けることが可能であるが、そうした既存の公共交通機関に対するとおても踏まえて、従業員・乗務員の雇用維持等についても含めて持続可能な形であるかもぜひ実証運行中に検討してほしい。
- 事務局 オンデマンド輸送はタクシーとバスの中間のような位置づけになると認識している。タクシーはバス停まで行くのが困難な方が利用されると思うが、今回視察した世田谷区の実証運行でも、オンデマンド輸送は一定の距離は歩ける方がターゲットとなると考えられる。既存の公共交通機関を考慮しないということは考えていないので、収支について示せる検討段階になれば地域公共交通会議で提示させていただく。
- 委員 p.4の視察されたオンデマンドバスの事例について経緯と今後の予定を紹介すると、実証運行は無料であったが4月からは有料の予定。世田谷区の宇奈根・喜多見地区の一部で運行しているものであるが、以前は二子玉川駅まで結ぶ循環型の路線バスを運行していたが収支が厳しく、一方で路線としての維持の必要性はあると考えていた中で、ハイエースで拠点まで運行し、そこから乗り換えて駅まで行っていただくという形に切り替えることで路線を維持しようと考え、試験的に運行を行ってきたという経緯である。並走するバス路線もありながらオンデマンドバスも運行しており、目黒区北部地区の地域交通とは少し考え方が違うかもしれないが紹介させていただいた。

○会長 考え方が違う点もあるとは思いますが、こういう事例を紹介いただくことはとても大事だと思うので今後もぜひ紹介いただきたい。

○委員 世田谷区のオンデマンドバスについて、検討に参加している者としてお話をさせていただくと、運賃は220円、IC利用では乗り継ぎが無料でシルバーパスが使えるといった形を予定しているが、そういったシルバーパスの利用可否や乗り継ぎ割引といったところが議論に上がってくると思われる。世田谷区の例だと、東急バスへの乗り継ぎは割引になるが小田急バスだと割引にならないという点があり、そうした複数の事業者が絡んできた場合には、合意形成への調整やシステム変更のコスト問題もある。世田谷区との違いとしては、世田谷区の場合は既存の路線バスが走っていたというところで、採算がとれないと基本的には撤退することが多い中で、東急バスは23区内で初めて撤退ではなく形態をオンデマンドバスに変更して路線を残すということになった。オンデマンドバスのシステムを視察することも大切であるが、そこに至った経緯や背景についてレビューし、それが目黒区の場合にはどう馴染むか、それを地域公共交通会議だけでなく地域の協議会で実際利用されるであろう方々に認識いただくことも、運賃設定や費用負担を検討していく中で重要になってくるかと思う。昨日、三鷹市で議論があがったのが、運転士が減少しており減便等が起こっているといった業界の風潮があり、そうしたところも理解しながら持続可能な形を検討していけるとよい。そうした中でデマンド運行というのは切り札になるかもしれない。

○委員 既存のバス事業者はしっかりとした考えのもとに運行が行われていると理解しているが、それ以外にも新しくサブスク等の安価な輸送サービスを行う事業者も出てきているので、そうした中で公共交通機関として持続可能な導入の形についてしっかり考えていただければと話したままであり、現在の内容を否定しているわけではないので、よく検討を行っていただけるとよい。

○委員 感想になるが、オンデマンド輸送はスモールスタートでやれるというイメージはあるが、実際には、Web以外に電話で予約センターを設置するとなると人件費も必要となる。予約の電話は一日中かかってくるような状況ではないと思われるが、そうなるとオペレーターが専業では採算が合わないため、他の業務も行う中で交代制等での電話状況に合わせた対応が可能な委託先を見つけることが必要かと思う。運行についてもドライバーがスタンバイしていてもニーズがなく稼働しないという状況も起こりうるので、ある程度回していく目途がたたないと事業者としては厳しく、ニーズの把握は路線バス以上に難しくなってくるかと感じた。

○委員 p.5に道路幅員図があるが、この道路幅員はどういう規定のものか。

○事務局 白線の内側等ではなく、道路全体の幅員である。

○委員 実際には車が通れるところの幅で検証する必要がある。また、既存のバス停を活用する場合には地域公共交通会議だけでなく、公安委員会の合意を取るといった道路交通法上の手続きが必要であるということは認識しておいていただきたい。

○事務局 了解した。

○委員 今回2つの地域で試走会をされて、そこに参加された地域の方や関係者の方の認識の変化や、実現性、今後の進展に向けてはどうであったか。

○事務局 試走会に向けては、参加者へ道路幅員の事情等を説明しながら行った中で、それでもできるなら定時定路線がよいという意見はあった。今後も勉強会を行い、できること・できないことをしっかり説明しながら進めていく必要はあると感じた。ただ、どういう形であれ地域交通は導入したいという思いは2地域とも同じであったので、できる限り説明をしながら検討を進めていきたい。

○会長 議題は以上となります。東部地区の今後の進め方につきましては合意いただいたので、引き続き取り組みを進めていきます。

【議事進行】

次第「5 閉会」

○事務局 会議で合意いただいた運行ルート案、バス停候補案に関しては今後事業者等とも調整させていただき、地域公共交通会議に提示させていただく。次回の会議は9月頃を予定しているが、進捗に合わせて開催を連絡させていただく。次回に際して委員の変更、リモートの希望等があれば事務局へお知らせいただきたい。

以 上

令和4年度 目黒区地域公共交通会議【第2回】

別紙

開催日時：令和5年3月23日(木)午後2時00分～午後3時30分

開催場所：中目黒住区会議室 第5・6会議室(目黒区中目黒2-10-13 中目黒スクエア内2階)

	所属・役職等	氏名(敬称略)	会場出欠席	Web出欠席	備考
1	目黒区都市整備部長	しみず としや 清水 俊哉			
2	目黒区都市整備部都市計画課長	さとう きんや 佐藤 欣哉			
3	目黒区都市整備部みどり土木政策課長	しみず まこと 清水 誠			
4	東京都交通局自動車部計画課長	わかた みずほ 若田 瑞穂	-		代理
5	東急バス株式会社運輸事業部運輸計画部計画課長	はらやま だいすけ 原山 大輔			代理
6	小田急バス株式会社バス事業本部計画部課長	ふるや ひろぶみ 古谷 弘文			代理
7	一般社団法人東京バス協会乗合業務部長	よねざわ あきひろ 米澤 暁裕	-	-	欠席
8	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部業務部長	こいけ たけし 小池 毅			代理
9	目黒区町会連合会	みしば のぶお 三柴 伸生			
10	目黒区商店街連合会	すわ たかし 諏訪 尊	-	-	欠席
11	目黒区老人クラブ連合会	やまくち たけし 山口 武志			
12	区民(公募)	いけうち たかし 池内 卓			
13	区民(公募)	かわはら ひろこ 川原 寛子			
14	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官	せいけ ひろゆき 清家 裕之			代理
15	東京都交通運輸産業労働組合協議会 バス部会事務長	さとう なおのぶ 佐藤 尚宣			代理
16	東京都交通運輸産業労働組合協議会 ハイタク部会事務長	くが つねお 久我 恒夫			
17	国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所管理第一課長	まつざき あきら 松崎 暁	-	-	欠席
18	東京都建設局 第二建設事務所管理課長	すずき よしはる 鈴木 義治	-	-	欠席
19	目黒区都市整備部土木管理課長	はら あきみち 原 亮道	-	-	欠席
20	警視庁交通部交通規制課管理官(調査担当)	ふじひら ただはる 藤平 忠晴			
21	警視庁目黒警察署交通課長	きくち あさみ 菊池 あさみ			
22	警視庁碑文谷警察署交通課長	やました のりお 山下 憲雄			
23	学識経験者 東京都市大学建築都市デザイン学部准教授	いながき ともゆき 稲垣 具志			